

新成人、おめでとう!



広

陵

町

議会 だより

 No.84

平成 26 年 2 月 1 日

目次

2	開かれた議会
3	第4回定例会
6	追加議案
8	町政を問う一般質問
14	意見書
15	委員会の窓
16	議会日誌

「開かれた議会」

— 皆さんの声を聞かせてください —

町民の皆様方とともに、健やかな新年をお迎えできましたことを心よりお慶び申し上げます。

平素は、議会運営・活動に對しまして、何かとご理解、ご支援を賜り心からお礼申し上げます。

昨年は、7月に山村新町長が誕生し、住民との対話とコミュニティを重視したまちづくりを目指してスタートされました。

議会では、公共交通システム、広陵町と県とのネットワークシステム（アスベスト倉庫無届け解体問題等）、そして中学校給食を特別委員会で検討するとともに、議会機能の一層の充実強化のため、議会基本条例策定に取り組んでいます。

これら、町の重要課題に取り組む積極的な議会活動を通して、安心して暮らせる広陵町をつくるため、議員一同、誠心誠意尽くしてまいる所存であります。

町民の皆様方には、本年も変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

広陵町議会議員一同

議長

青木義勝

副議長

堀川季延



八尾春雄



吉田信弘



山村美咲子



谷 禎一



山田美津代



坂口友良



竹村博司



吉村真弓美



八代基次



笹井由明



奥本隆一



坂野佳宏

平成**25**年
第4回
定例会
12月5日～12月16日

審議結果は次のとおりです。

報告

報告第10号 広陵町放課後子ども育成教室条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

子ども・子育て関連法の整備に伴い平成25年10月1日から教育委員会に置かれていた「子ども育成課」が福祉部「子ども支援課」に変更されたため。

報告第11号 平成25年度広陵町一般会計補正予算(第4号)の専決処分の報告について
【17万2千円増額】

大和平野土地改良区総代補欠選挙実施に伴う補正予算

採決結果 全員一致で承認

人事

議案第48号 広陵町特別職報酬等審議会委員の選任につき同意を求めることについて

採決結果 全員一致で同意

条例

議案第49号 広陵町税条例の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決



平成26年4月1日から消費税が8%に上がることによる種々の改正がありました。

議案第50号 広陵町廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正することについて

採決結果 賛成多数で可決

反対討論

消費税増税によらない別の道がある。消費税は、低所得者ほど負担が重くなる逆進性が明確で、大企業・大金持がその力にふさわしい税負担こそ求められる。公共料金の値上げは暮らしを直撃するものだ。

賛成討論

消費税率5%から8%への引き上げは社会保障や少子化対策に充当され、私たちの暮らしを一層豊かにしようというやむをえない政策。

議案第51号 広陵町下水道条例の一部を改正することについて

採決結果 賛成多数で可決

反対討論

消費税増税と同時に、1世帯平均で460円もの下水道料金値上げとなる。可処分所得が伸びず、年金も減らされた中でますます厳しい生活を強いられる。

賛成討論

特別会計で一般会計から多額の基準外繰り出しを受けている。本来下水道使用料によりまかなうものに一般財源の税金を投入するには限りがある。

(1m³あたり)

議案第51号 下水道使用料改正

区 分		改正前	改正後
一般廃水 1~300m ³	税ぬき金額	105円	120円
	消費税	5円	10円
	税込み	110円	130円
中間廃水 301~750m ³	税ぬき金額	162円	185円
	消費税	8円	15円
	税込み	170円	200円
特定廃水 751m ³ ~	税ぬき金額	190円	213円
	消費税	10円	17円
	税込み	200円	230円

議案第52号 広陵町水道事業給水条例の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決

反対討論

(50号議案の反対討論に同じ)

賛成討論

(50号議案の賛成討論に同じ)

議案第52号 上水道施設分担金改正

区 分	給水分担金	
	改正前	改正後
メーターの口径		
13ミリ	136,500円	140,400円
20ミリ	241,500円	248,400円
25ミリ	367,500円	378,000円
40ミリ	966,000円	993,600円
50ミリ	1,575,000円	1,620,000円
75ミリ	3,360,000円	3,456,000円

議案第52号 上水道給水分担金改正

区 分	給水分担金	
	改正前	改正後
メーターの口径		
13ミリ	157,500円	162,000円
20ミリ	241,500円	248,400円
25ミリ	420,000円	432,000円
40ミリ	1,260,000円	1,296,000円
50ミリ	2,100,000円	2,160,000円
75ミリ	4,200,000円	4,320,000円

◆給水分担金とは

水道の利用申込に際して、自治体（水道局）に納付しなければならぬ費用のことで、給水装置を新設しようとする者が納付します。造成面積が1,000㎡以上になる場合は施設分担金が適用される場合があります。

予算

議案第53号 平成25年度広陵町一般会計補正予算（第5号）

【1億3,012万円増額】

採決結果 全員一致で可決

議案第54号 平成25年度広陵町介護保険特別会計補正予算（第2号）

【689万3千円増額】

採決結果 全員一致で可決

議案第55号 平成25年度広陵町水道特別会計補正予算（第2号）

【518万7千円増額】

採決結果 全員一致で可決

その他

議案第56号 町道の路線認定について

採決結果 全員一致で可決



現地調査の様子

平成26年4月1日に香芝・広陵消防組合を解散し、奈良県広域消防組合を設立することに関連する以下3議案。

議案第57号 北葛城郡公平委員会規約の変更について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論

5月31日消防議会で香芝・広陵消防組合の継続・充実を特別決議している。地元に着した消防署のためには県下一円の広域消防は適さない。

賛成討論

当議会でも6月25日に可決成立しており必然的である。設立時期が遅延したのは、付帯決議を確認するまで設立許可しないことの現れ。



議案第58号 奈良県市町村総合事務組合を組織する市町村等の変更について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論

（57号議案の反対討論に同じ）

賛成討論

（57号議案の賛成討論に同じ）

議案第59号 奈良県市町村総合事務組合規約の変更について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論

(57号議案の反対討論に同じ)

賛成討論

(57号議案の賛成討論に同じ)

議員提出議案

議員提出議案第13号 消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論

逆進性を問題にするなら、現行税率から食料品や衣料品などの生活必需品に軽減税率を設定すべきなのに、この意見書は増税を前提に増税率の一部緩和を求めるもので矛盾している。

賛成討論

低所得者ほど負担が重くなる逆進性を緩和するには生活必需品への軽減税率導入をできるだけ早期に。中間所得層にも減税となり、世論の7割以上支持がある。

議員提出議案第14号 給付制奨学金の実現を求める意見書について

賛成少数で否決

採決結果 賛成少数で否決

反対討論

無償化されている高校生も含んだ意見書で、貸与奨学金と給付制奨学金の位置づけもない。応能負担が原則である。

賛成討論

現行の貸与制では就職直後から多額の借金を抱えるものとなる。勉学に精励できる環境を整えることは国際的な流れとなっている。



議員提出議案第16号 要支援者に対する介護保険サービスの継続を求める意見書について

採決結果 賛成少数で否決

反対討論

介護保険制度を長期に渡って持続可能にしていくには、制度の充実はもちろん、保険給付の必要性や有意性を考慮して、限られた予算の中で効率的なサービスを提供していかなければならない。

賛成討論

これまで介護保険が適用されているデイサービスやホームヘルプサービスを対象から外すことは制度の趣旨に合致しない。自治体による格差も生ずる。

反対討論

国家安全保障会議(NSC)を設置した以上、国民の安全・領土・国益を守るためきわめて必要性が高い。「知る権利」についても担保されている。

採決結果 賛成少数で否決

賛成討論

現代版の治安維持法であり憲法違反の法律である。何が秘密かも秘密であり、国民の知る権利・言論の自由が侵害されるので廃止すべきだ。



議員提出議案第16号 要支援者に対する介護保険サービスの継続を求める意見書について

採決結果 賛成少数で否決

反対討論

介護保険制度を長期に渡って持続可能にしていくには、制度の充実はもちろん、保険給付の必要性や有意性を考慮して、限られた予算の中で効率的なサービスを提供していかなければならない。

賛成討論

これまで介護保険が適用されているデイサービスやホームヘルプサービスを対象から外すことは制度の趣旨に合致しない。自治体による格差も生ずる。



追加議案

予算

来年度の町内保育園への入所希望者が予想を超えたため、広陵西保育園・広陵北保育園に保育室を増築するための予算を計上。



現地確認の様子

先の広陵町9月議会開催期間中に、「真美ヶ丘・みささぎ台地区の地区計画区域内に障がい者の一戸建のグループホームの建設が可能となる地区計画条例の成立を求める請願書」を提出し、御決いただきました。

しかし、請願書提出してから最終日までの9月議会開催中に、広陵町議会議員である2名の議員が、請願者27名の各自宅を訪問され請願者全員の住所氏名の記載した文書を配られました。

住所を知らせていない人が突然来訪されたことに驚き、また来訪目的が不明瞭で非常な緊張と圧力を感じた請願者は少なくありません。

さらに、私たち請願者27名は、今作られようとする地区計画の中に、グループホームが可能という一文を盛り込んでいただきたいという志を一つにしたものであり、お互いを知っている間柄ではありません。請願者の住所氏名一覧表を全員に配布されたことは、私たちの人権とプライバシーが侵されたと感じています。

その後、広陵町議会におかれましては、このようなことが二度と起きないよう、議会の取り決めに協議されたようですが、当該2名の

議員が議会申し合わせを拒否されたと聞いています。

よって、広陵町と広陵町議会におかれましては、広陵町個人情報保護条例を再度検討され、請願者の個人情報安易に流出することが無いよう、また、安心して請願ができますように、その仕組みを作られる事を請願します。

平成25年12月16日

請願者 1名

紹介議員 坂口友良

採決結果 全員一致で採択

◆議会閉会中の所管事務調査について

平成25年中に広陵町内で起きた重大な事故を検証し、再発防止策について改善できているかチェックするため、厚生建設委員会が議会閉会中も所管する事務を調査していくことを申し出し、承認されました。

採決結果 全員一致で承認

町民の皆様が町政などについて直接町議会に要望するものとして、「請願・陳情」があります。

「請願」とは

日本国憲法第16条に認められた国民の権利の一つで、国または地方公共団体等の公共団体に対し、文書により希望や要望を申し出るものです。地方議会に請願を提出する場合は、地方自治法の規定により、議員の紹介により提出しなければならぬとされています。

「陳情」とは

請願のように憲法に保障された権利ではなく、一般的な手続きや形式が法律に定められているわけではありませんが、国または地方公共団体等の公共団体に対し、実情を述べ適当な措置を要望することをいいます。

「請願」も「陳情」も要望を述べるといふ点で趣旨は同じです。大きな相違点としては、陳情は請願のように提出に当たって議員の紹介の必要がないという点です。

追加議案

予算

来年度の町内保育園への入所希望者が予想を超えたため、広陵西保育園・広陵北保育園に保育室を増築するための予算を計上。



現地確認の様子

先の広陵町9月議会開催期間中に、「真美ヶ丘・みささぎ台地区の地区計画区域内に障がい者の一戸建のグループホームの建設が可能となる地区計画条例の成立を求める請願書」を提出し、御決いただきました。

しかし、請願書提出してから最終日までの9月議会開催中に、広陵町議会議員である2名の議員が、請願者27名の各自宅を訪問され請願者全員の住所氏名の記載した文書を配られました。

住所を知らせていない人が突然来訪されたことに驚き、また来訪目的が不明瞭で非常な緊張と圧力を感じた請願者は少なくありません。

さらに、私たち請願者27名は、今作られようとする地区計画の中に、グループホームが可能という一文を盛り込んでいただきたいという志を一つにしたものであり、お互いを知っている間柄ではありません。請願者の住所氏名一覧表を全員に配布されたことは、私たちの人権とプライバシーが侵されたと感じています。

その後、広陵町議会におかれましては、このようなことが二度と起きないよう、議会の取り決めに協議されたようですが、当該2名の

議員が議会申し合わせを拒否されたと聞いています。

よって、広陵町と広陵町議会におかれましては、広陵町個人情報保護条例を再度検討され、請願者の個人情報安易に流出することが無いよう、また、安心して請願ができますように、その仕組みを作られる事を請願します。

平成25年12月16日

請願者 1名

紹介議員 坂口友良

採決結果 全員一致で採択

◆議会閉会中の所管事務調査について

平成25年中に広陵町内で起きた重大な事故を検証し、再発防止策について改善できているかチェックするため、厚生建設委員会が議会閉会中も所管する事務を調査していくことを申し出し、承認されました。

採決結果 全員一致で承認

町民の皆様が町政などについて直接町議会に要望するものとして、「請願・陳情」があります。

「請願」とは

日本国憲法第16条に認められた国民の権利の一つで、国または地方公共団体等の公共団体に対し、文書により希望や要望を申し出るものです。地方議会に請願を提出する場合は、地方自治法の規定により、議員の紹介により提出しなければならぬとされています。

「陳情」とは

請願のように憲法に保障された権利ではなく、一般的な手続きや形式が法律に定められているわけではありませんが、国または地方公共団体等の公共団体に対し、実情を述べ適当な措置を要望することをいいます。

「請願」も「陳情」も要望を述べるといふ点で趣旨は同じです。大きな相違点としては、陳情は請願のように提出に当たって議員の紹介の必要がないという点です。

その他

採決結果 全員一致で可決

議案第60号 平成25年度広陵町一般会計補正予算(第6号)
【5,380万円の増額】

請願第2号 広陵町議会議員が請願者個人情報流出させた一件に

対し、広陵町と広陵町議会は請願者のプライバシー保護の仕組みを構築するよう求める請願について

広陵町議会 平成25年第4回定例会 議決結果一覧

◆全会一致で可決、同意、承認、採択した議案

議案第48号 議案第49号 議案第53号 議案第54号
 議案第55号 議案第56号 議案第60号 請願第 2号

◆賛否の分かれた議案（採決の行われた順に掲載）

○……賛成 ×……反対

議案	堀川 季延	谷 禎 一	吉村 眞弓 美	坂野 佳宏	山村 美咲子	竹村 博司	奥本 隆一	吉田 信弘	坂口 友良	青木 義勝	笹井 由明	八尾 春雄	山田 美津代	八代 基次	議決結果
議案第57号 北葛城郡公平委員会規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりませ ん	○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第58号 奈良県市町村総合事務組合を組織する市町村等の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第59号 奈良県市町村総合事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第50号 広陵町廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第51号 広陵町下水道条例の一部を改正することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第52号 広陵町水道事業給水条例の一部を改正することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議員提出議案第13号 消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議員提出議案第14号 給付制奨学金の実現を求める意見書について	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	○	○	×	否決 (賛2・反11)
議員提出議案第15号 特定秘密保護法の廃止を求める意見書について	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	○	○	×	否決 (賛2・反11)
議員提出議案第16号 要支援者に対する介護保険サービスの継続を求める意見書について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	否決 (賛2・反11)	

広陵町議会では、提出された「請願・陳情」を慎重に審査して採否を決定しています。その結果、採択（寄せられた意見や要望を町政に反映すべきであると判断）されたものについては、町長等に対して送付し、実現を要請しています。

「意見書」とは――

地方自治法第99条において、地方公共団体の公益にかかわる事柄に関して、議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁に提出できることとされています。

各定例会に意見書案を提案し、議会運営委員会での協議により、議員発議で提案し、議論の後採否を決定します。

また、町民・団体等から意見書提出を求める陳情が出されることもあります。

意見書には法的拘束力はありませんが、住民代表である議会の総意として尊重されます。



一
質
問
般

こころが聞きたい!

町政を問う



一般質問を12月10日、11日に行いました。一般質問は、議員が町の行政全般にわたって理事者に対して、事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求めまたは疑問を質すために行います。

広陵町議会は、通告制（質問内容をあらかじめ議長に提出する。）を採用し、一議員、一時間の持ち時間で、一質問につき、3回まで質問を行います。なお、質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっており、ですので、詳細については会議録をご覧ください。

会議録は、3月上旬に町役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、広陵町ホームページに掲載する予定です。

※答弁者の「理事者」との記載は、町長、副町長、教育長、関係部長の発言を要約して掲載する場合に用いています。



谷 禎一 議員

町内のアスベスト処理は
不完全では

問 町議会は特別委員会を設置し、引続き調査検討している。対アスベストの法律が年々厳しくなる中、平成17年のアスベスト分析調査は、直接検査機関へ発注せず、業者選定にも問題があり、同調査報告書は不備で信頼性に欠ける。町内の当該公共施設は現法の基準で安全か。

受注業者は以後、毎年数件を随意契約で受注している。今後は工事金額、事業内容を適切に判断し、業者選定する必要があるのでは。

山村町長 当時は同問題が深刻な社会問題であり、迅速な対応の必要性から町内業者と契約しました。今後は、一般競争入札で広く業者選定します。

改めて、今年度中にアスベスト調査を予定しています。確認できない施設は北幼稚園、北小学校、真美第二小学校、真美中学校、広陵西、北体育館の6施設で、安全を期してまいります。

試験的にゴミ袋
一部無料配布を

問 法律では、ゴミ袋の有料、無料関係なしに一般廃棄物は自治体が処理しなければならない。

現状は、ゴミ袋有料化による町税収入が毎年約3,000万円。基金に積立残額は3,013万円ある。リサイクルによる有資源売却金は予算額より大幅な収入増が平成18年当初より続いている。

また、ゴミ収集費は、他町と比べ大幅な支出となっており、各余剰金、収集費を節約すれば無理なことではない。焼却場移転問題の周知もあわせておこなえばどうか。

山村町長 無料にする意義（効果）、分別や減量に努力している人とそうでない人、両者に配布する事について疑問が残るため、現行としていきます。今後、ゴミ処理問題全体に議論を深めていかなければならない。議員の主旨は理解できますが、原資だけの問題ではないのでご理解をお願いしたい。

◆その他の質問事項

- 地域にあつた街づくりを目指せ
- 地域の交通安全自主規制へ



坂口友良 議員

特別職の退職金の額について 調査が必要だが考えは

問 今回特別職報酬等審議会委員のメンバーも出され、活躍が期待できる。メンバーには町内事業所団体の会長さんも入っているので、一度町内事業所の退職金ベースも教えてもらう必要がある。果たして4年間で1,745万円もらえる事業所はあるのかどうか、その点も考慮が必要かと思いが考えはどうか。

山村町長 様々な方面から委員を選出すると共に、あらゆる議論ができるよう近隣の状況や過去からのデータ、職員の給料の動向など事務局のほうでしっかりと資料を作成し、審議会に提出するよう指示をしています。

新清掃センター建設計画で貯金を始める必要があるが計画は

問 古寺地区にある現クリーンセンターは平成34年に操業は終わりで、それまでに新しい地区に新清掃センターが必要になる。予算も数十億円

規模になるが、今から貯金を始める必要があるがどうか。また今回重大な人身事故が発生したが事故の予防、安全対策などはどう考えるのか。

理事者 平成28年中に次期建設候補地を決定すべく計画推進しています。町全体の新しい財政計画を策定中で、必要に応じて基金の創設も考えるべきと思います。安全管理、安全教育、意識の向上、機械的・人的にも対策を取っていきます。

障がい者の生涯住まい計画の 保護者との協力体制はどうか

問 このたびグループホームの請願書も可決していただき当局からも力強い支援もいただけると保護者の方々の喜びもひとしおである。今保護者の方々も自分達で計画や調査、用地の選定、資金など検討を始められている。用地の地区決定については、行政の応援や地元との話し合いの場の設定など協力願えないだろうか。

山村町長 運営母体の組織づくり、運営の資金、適地の選定等課題は多くありますが、実現のために一つ一つ解決していく努力が必要と考えています。町も可能な限り協力させていただきます。対話の機会を多く持ち、行政が手厚い応援をしていることを実感していただけるよう進めていきます。



八代基次 議員

有能な女子職員には ふさわしい地位を

問 近年、産業界、中央省庁においては女性がその能力に応じて活躍が目立っていますが、本町では課長職は少数だし、部長職はほとんどない。政府も女性重視の政策を打ち出している。女性の高級管理職の登用は役場内に新鮮な感じを与え、繊細な神経を使って部内をまとめ、職責を果たすものと信じます。また、女性職員の志気を高め、男性職員を含めての切磋琢磨に結びつき、活性化すると信じます。町長の見解は。

山村町長 本年10月1日現在、職員管理職の女性割合は41%で、平成24年の内閣府調査の割合を大きく上回っています。政府は女性の登用、政策・方針決定の参画拡大を要請しており、法の定める平等取扱いと成績主義の原則に基づき積極的に推進します。私の任期中に女性部長を誕生させたいとの思いがあり、女性職員の意識・意欲の向上に努めます。

考え直そう

「敬老の日」のあり方

問 本年の「敬老の日」の行事は天候の関係で中止になった。恒例の芝居の観劇ができず残念に思う人達もおられますが、かくや姫ホールで町長、高齢者、関係者が集まり、祝辞、観劇、ケーキの配布等でマンネリ化していないだろうか。この日は国民の祝日であり、国民の各々が老後を考える日であり、自己の反省、設計の日でもあります。高齢者にとつて、「何か役に立つ事は」。人間は誰でも自分の存在意識、向上心を感じた時、最も幸福と感じると思います。その意味において町主催の「敬老の日」のあり方を見直してはどうか。

山村町長 毎年9月は高齢者福祉月間であり、各地で種々の事業が展開されています。本町では100歳、90歳到達者に敬老金贈呈、町長の訪問、70歳到達者にキーホルダーの配布、70歳以上に敬老祝品、健康福祉大会の開催等であり、マンネリ化はとの声を聞いています。社会に尽くされた高齢者を祝う趣旨を踏まえながら老人クラブ等と十分に協議し、よりよい事業に発展するよう検討を進めます。



奥本隆一 議員

中学校給食の 実施スケジュールを問う

問 11月26日の議員懇談会において給食開始までのスケジュールの説明があり、平成27年4月着工、平成28年4月給食開始(予定)を考えていると話された。先の9月議会定例会において、給食実施時期を問う私の一般質問に対して、平成27年4月からのスタートを予定していると答弁があった。なぜ3か月も経過しない間に実施予定時期が1年も先送りになったのか伺いたい。

松井教育長 平成26年度に国の助成を受けるための申請をしており当初予算計上する予定です。議会から推薦いただく運営委員会が決まり次第、速やかに作業を進めます。いい資料を作成するための準備作業に手間取っていたことも遅れがちになった理由であるが、今後1日も早く実現するよう努力してまいります。実施に向けての具体的な取り組みですので、ご理解いただきました。

地域の借地公園の 有効活用で長寿と健康の町に

問 高齢者になっても健康で生き生きと暮らすためには、日頃から適度な運動を行うことが望まれる。現在の借地公園の利用はどうか。かつてはゲートボール等で高齢者が元気にプレーをされていたが、今日そうした光景は皆無に等しくなった。委託管理に年間150万円が元気が計上されている借地公園。必要性が無ければ、返還すべきという声も聞かれる。身近な地域の借地公園等を活用した気軽に楽しくスポーツに親しむことができる取り組みが必要であると考えらるがどうか。

山村町長 日頃からの適度な運動は病気の発生を減らす効果が認められていることから、高齢者の自主的な活動を支えながら、町が率先して「健康長寿の町」を目指した取り組みを図ることが必要と考えます。今後も空き地・借地公園・ミニ体育館などで楽しく体を動かしていただく機会を多くつくっていきたいと考えます。



堀川季延 議員

西校区路線バス運行の 見通しについて

問 西校区路線バス運行の廃止・減便について、本年3月議会において質問したが、その後の奈良県地域交通改善協議会で話し合われ、どのような結果になったのか。また、将来の展望も伺いたい。

山村町長 県の中南部を走る奈良交通の路線バス56路線のうち、慢性的な赤字が続く25路線について、県地域交通改善協議会に協議の要請があります。本町においては「高田イオンモール線」と「高田新家線」の2路線が対象となっております。

現在のところ、協議会において一定の指標が示される中で、この2路線は廃止等の検討には当てはまらない状況です。しかし、赤字路線に変わりはなく、維持のための赤字補填の要望が出ております。

今後、関係する大和高田市、橿原市、葛城市と補填の在り方など協議をすることになっていきますので、議

会にも相談させていただき、町の方
向づけを決めてまいります。

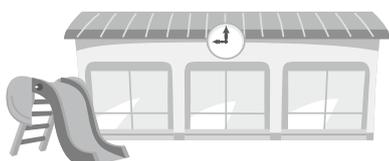
幼稚園の統廃合について 進み具合を問う

問 幼稚園の統廃合については、今後、整備のための委員会を立ち上げ、年度内に地元と協議し、用地を決定していくと3月議会で答弁されたが、現在どこまで進んでいるのか。今後のスケジュールを聞きたい。

松井教育長 現時点においては、整備のための委員会の立ち上げには至っておりません。

しかしながら、各幼稚園の老朽化は進んでおり、建て替えについても特に西幼稚園と西第二幼稚園の統廃合、あるいは「子ども子育て支援制度」における方針も併せて検討してまいりたいと考えています。

今後は、委員会の立ち上げと人選を進める一方、保護者や地元の意見、用地の選定や確保並びにアンケート調査の実施も視野に入れ、進めてまいりたいと考えています。





菅井由明 議員

町道舗装改修状況について

問 ①幹線道路及び町内集落内道路の老朽化により、計画的に道路舗装改修がなされているところですが、平成25年度の道路予算中の主な道路改修状況と年度内の改修実施計画路線についてお聞きしたい。

②役場前から旧南郷バス停を経て大和高田市へ通ずる路線(南22号線)についての舗装改修、南郷北口の横断歩道整備の具体化について進捗状況をお聞きしたい。
③役場前オリンピックロードの舗装工事については、県によって完了していますが、街路灯の設置工事についての進捗状況と、歩道整備の県要望の具体案についてお聞きしたい。
加えて、役場東側水路の暗渠化について、進捗状況をお伺いしたい。

山村町長 ①の真美ヶ丘地区内の町道広谷秋廻り線の舗装修繕工事は完了しています。次に、町道22号線南郷地区、町道赤坂線のおんど

り橋東側の舗装修繕工事を計画しています。
②先月から道路排水工事に着手しており、土木工事が完了後、続いて舗装工事を実施します。旧南郷北口バス停にありました横断歩道ですが、香芝警察署から交差点を外した北側への位置変更を要望されていますので、児童が安全に通学するための通学路一斉点検を実施の上、通学路改修を実施したい考えです。
③現在一部設置が完了していますが、役場前交差点から新尾張川までの間は、工事関係車両設置手続き時間を要しており、許可が下り次第実施しますので、ご理解願います。
また、県道田原本広陵線の歩道整備については、毎年度要望をしており、県からは町施行の百済中央バイパス工事完了に合わせて県道改修と歩道改修の工事を実施する旨、聞いています。今後も引き続き、役場交差点から東の歩道改修も要望していきます。

役場東側水路の暗渠化については、南郷地区の横断歩道整備と同様、通学路の安全対策事業の補助を受け、来年度から実施していく予定です。



山村美咲子 議員

「災害対策基本法改正案」成立を受けて

問 大規模災害は、いつ起こるか予測は難しく、平時からの防災対策の強化は「待ったなし」の緊急課題です。改正案は対策強化の確かな一歩と期待されており、以上の観点から

①災害援護者の避難対策について改正災害対策基本法における本町の指針、避難所における生活環境の整備、福祉避難所運営ガイドラインの作成はいかがでしょうか。
②罹災証明書の速やかな発行のため、被災者支援システムの導入について、広陵町の取り組みはいかがでしょうか。

山村町長 ①本年度中に地域防災計画の見直しを行ない、特に防災行政無線の整備に取り組みます。避難所の生活環境整備については内閣府から示された指針に基づき、対応していきます。福祉避難所運営ガイドラインの作成は必要であ

り、検討していきます。②検討をすすめていきます。

支えあう地域社会 NPO・NGO

問 高齢者や弱い立場の人を孤立させない、支えあう地域社会を構築し、住民が支えあつて、輝き支え合う社会を願って、質問します。

①高齢者の地域見守りネットワークの強化や高齢者の地域における外出・買い物などの生活支援サービスの充実について
②児童虐待、DV、うつ病など弱い立場の人に手を尽くす地域づくりは、「心の相談室」の専門職採用など体制強化が必要
③ニート、引きこもりなどの若者を総合的に支援する体制の強化について

山村町長 ①地域住民の参加・高齢者の社会参加に生活支援サービスを組み合わせたものを構築して、元気な高齢者が生活支援の担い手として活躍することを検討しています。
②「心の相談室」は、来年度「精神保健福祉士」「臨床心理士」の採用を予定しています。
③「こども・若者支援地域協議会」の設立に向け、準備を進めていきます。



坂野佳宏 議員

スポーツ振興について

問 町内のスポーツクラブ減少の中、今後の育成方針、施設整備の考え方をお聞きしたい。

学童野球、スポーツ少年団は指導者の尽力により活発な活動をされている。

一方、成人スポーツクラブは年々、チーム数が減少している。ソフトボールチームからは、グラウンドが確保出来ないため試合等が組めないと嘆かれている。

インターネット予約の検討も必要では？

山村町長 広陵町におけるスポーツ振興については、第4次広陵町総合基本計画としてスポーツ施設の有効利用を図りながら、スポーツ活動の場と機会の充実を進めることとしていきます。

今後は、スポーツ施設の適正管理と有効活用とともに、スポーツ団体指導者育成の重要性がますます高ま

ると考えられます。

若者から高齢者までのスポーツ活動の推進には、地域住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備が必要なことから、総合型地域スポーツクラブ（地域の皆さんが主役となつて運営するクラブ）の創設支援を推進しております。

お尋ねのチーム減少につきましては、平成6年の二十四時間マラソンソフトボールが開催された時は47チームの参加がありました。

現在は、12〜13チームに減少している現状があります。原因としては、個人の生活優先の社会になつてきたのではないかと推測しています。

スポーツは私達の健康維持、増進にとつて有効であり、総合型地域スポーツクラブの普及に努めてまいります。

松井教育長 インターネット予約につきましては、テニスコート予約の対応が難しいため、研究する時間をいただきたい。



吉村真弓美 議員

広陵町の

胃がん対策について

問 ピロリ菌はWHOによつて胃がんの確実発がん因子として、アスベストと同じ最高の危険性を示す「グループ1」に認定されています。日本では98%以上の胃がんが、ピロリ菌感染に基づき起こっています。胃がんは、ピロリ菌による感染由来のがんで、除菌することで胃がんの発生を3分の1に減らせます。又、ピロリ感染胃炎は、ほぼすべての胃の病気の根源であるため除菌治療することにより、胃がんを始め殆どどの胃の病気を予防できる可能性が高いのです。これを検診に入れるかどうか、除菌をするかどうか、ひとえに町長のご決断だと思いますが、いかがでしょうか。

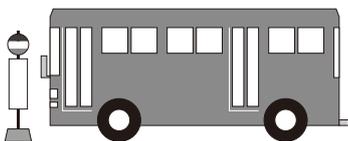
山村町長 医療技術は、日々飛躍的に進歩をしていますので、その時代に応じた検診方法を取り入れていくことも大切と考えます。ご提案の検

診方法についても検討をしてみたいです。

公共交通について

問 11月15日付の広陵で、お知らせの項目に、奈良交通において「近鉄高田駅」〜「竹取公園東」について平成26年10月以降の廃止や減便を検討と記載されていました。さつそく通勤で使用されている方から、ご心配のお声をいただきました。この路線バスが廃止や減便になつてしまつた時、広陵町では、どのようにフォロー体制を考えておられるのか、現在どの様な方向に協議が進んでいるのかお聞かせ下さい。

山村町長 現在のところすぐに廃止には至らないと考えています。しかし、今後も利用者が減少しますと、当然のことながら廃止や減便の議論も出てくると思いますので、現状を維持するために、積極的に路線バスを利用いただくよう広報でお知らせさせていただきます。今後も路線バスの維持に向け、協議してまいります。





八尾春雄 議員

9月議会で採択された 請願について

問 9月議会で地区計画条例と整合性のない請願が採択されたが、今後どのように対応するのか。地権者の合意はどのようにしているのか。

山村町長 平成24年9月26日に障がい者保護者と交わした確認書を念頭に置き対応する。県とも協議し都市計画審議会において議論していただく。その結果、了とされれば議会に協議申し上げる。地域全体への事前周知も必要と考えている。

クリーンセンター 人身事故について

問 11月15日発生の事故について、直接の原因だけでなく、安全衛生体制や契約関係も含め見直しを進め事故の再発を防止してもらいたい。労働基準監督署の臨検が実施されたのは、この仕事の従事者の労働者を疑っているのではないのか。

理事者 ケガをされた方の一日も早い回復を祈っている。シルバー人材センターとの委託契約については、見直しを行い、直接雇用による作業、民間への委託、シルバーへの委託と仕分けを行いたい。クリーンセンター職員も気を引き締め直し、民間企業の協力も得ながら日常の運営を継続する。

交差点信号機に「右折」を 表示するようについて

問 真美ヶ丘幹線と柳板大谷線、広谷秋廻り線と柳板大谷線には右折表示がなく、右折が危険な場合があり心配の声が出ている。改善してほしい。

山村町長 香芝警察・公安委員会の改良案が示され、大谷奥鳥井線と柳板大谷線の交差点については舗装修繕工事と合わせ来年度に実施する予定だが、広谷秋廻り線については幅員が狭く困難となっている。

◆その他の質問事項

- 介護保険から要支援1・2を外すことについて
- 横峰公園北側道路の事故について



山田美津代 議員

子ども子育て 支援新制度について

問 新制度は保護者の就労を基本に保育の必要性と必要量を認定し保護者に対して直接補助をするもの、多様な施設・事業に規制緩和も含めて多様な基準が認められることで子どもの保育に格差が生じ保育環境が悪化することが予想される。全ての子どもへの権利を保障する制度の観点から十分な論議と準備が必要。

山村町長 ニーズ調査等により保育ニーズを的確に把握して子ども子育て会議及び議会と十分に協議し町として必要な保育所等の整備計画を策定する。

子ども医療費を 窓口払い無しの

問 子ども医療費が、中学卒業まで無料なのは町民が本当に喜んでいてさすが福祉の町広陵町として評価を頂いて居る所ですが、もう一歩進んでお給料日前でも安心して

子どもを病院に連れて行けるように国や県のペナルティを恐れず窓口払い無しに取り組んでいただきたい。全国では37都府県が実施されています。

山村町長 現物給付は過剰診療の増加や小児救急体制への過剰負担に繋がる。近隣の状況を見て今後の対応とする。窓口での支払いが困難な方には県内の医療機関で受診された方のみ「福祉医療費資金貸付」を無利子で利用する制度もあります。

公共交通のICカード

問 元気号は改善されて好評ですがバス停が高齢者の方のご利用で危険な個所があるので点検が必要。先日議員懇談会で住民アンケートを取りデマンドも検討する。と言われましたが三郷町などの先進地を研究して是非デマンド交通実現を早めて。

山村町長 停留所は定期的な停留所施設の安全点検の実施、道路植栽の管理をおこなっている。デマンド導入は元気号との調整や既存路線である奈良交通やタクシー会社との協議など精査が必要。次年度に広陵町地域公共交通活性化協議会でデマンドも候補の一つとして検討する。

意見書

消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書

厳しい財政状況の下、一層本格化する少子高齢社会にあつて、社会保障の費用を安定的に確保し、将来にわたつて持続可能な社会保障制度を維持・強化していくために「社会保障と税の一体改革」関連8法案が昨年8月に成立しました。そして、安倍総理は法律通り明年4月1日から消費税率を5%から8%へ引き上げる決断をしました。法律ではさらに平成27年10月には10%へ引き上げられる予定となつております。

消費税率の引上げは国民の暮らし、特に中堅・低所得者層の生活に大きく影響を与えます。よつて抜本的かつ恒久的な対応が求められております。食料品など生活必需品に「軽減税率制度」の導入を図ることは、逆進性対策としても、国民の消費税に対する理解を得るためにも必要な制度であり、各種世論調査でも約7割が導入を望んでいます。よつて、政府においては、速やかに軽減税率を導入し、下記の事項について環境整備を図るよう強く求めます。

記

1、「軽減税率制度」の導入へ向けて、年内に結論を得るようその議論を加速し、軽減税率を適用する対象、品目、中小・小規模事業者等に対する事務負担の配慮などを含めた制度設計の基本方針について、鋭意検討を進め、その実現へ向けての環境整備を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年12月16日

【送付先】 内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣

議会基本条例策定
特別委員会の
取組状況について

昨年6月に設置いたしました「議会基本条例策定特別委員会」は、原案作成委員会議の回を重ね、住民の皆さんと一緒に今後の広陵町のまちづくりを検討していくため、条例の制定を目指して取り組んでおります。

議会に対する皆さんの御意見をアンケート調査でお尋ねすることも視野に入れ、二元代表制のもと、住民主体の政策立案機能を果たしてまいりたいと考えています。



議会の傍聴にお越しく下さい!

議会はみなさんに公開しています。気軽に来てください。



町議会本会議は、役場3階の議場で、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。次回は3月に開かれます。日程については、2月下旬に議会事務局までお問い合わせください。ホームページにも掲載しています。

ホームページ <http://www.town.koryo.nara.jp>

委員会の窓

12月議会に上程された議案は、総務文教委員会、厚生建設委員会及び決算審査特別委員会に付託された13件について審査を行いました。その主な審査内容と結果をお知らせします。

総務文教委員会

議案7件

議案第49号 広陵町税条例の一部を改正することについて

結果 質疑、討論もなく、全員一致で認定すべきものと決しました。

議案第53号 平成25年度広陵町一般会計補正予算(第5号)

問 防災デジタル無線の設置で音が到達しない地域は無いのか。

答 資料の図では空白域があるが、最低到達範囲を示しているの
で町全域は確実に届く。

問 臨時財政対策債とは。

答 今年度の普通交付税の確定に伴う起債で、本来交付税として支給される額を国の財源不足のために一定の折半ルールを基にする起債のこと。後年度の交付税算入率は70%。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第57号 北葛城郡公平委員会規約の変更について

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第58号 奈良県市町村総合事務組合を組織する市町村等の変更について

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第59号 奈良県市町村総合事務組合規約の変更について

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第60号 平成25年度広陵町一般会計補正予算(第6号)

問 保育の必要な児童数の予測はできなかったのか。

答 ミニ開発が多くあり、開発業者がいつ販売するか掴みきれなかった。今後は、届けてもらう。

問 保育士不足への対応は。支援スタッフ3年はやめて。

答 原則として正職員を採用したいが、今後の児童数をしっかり予測しないと無駄な人件費がかさむことになるので、短期職員・派遣も利用してバランスを保っていく。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

請願第1号 広陵町議会議員が請願者個人情報流出させた一件に対し、広陵町と広陵町議会は請願者のプライバシー保護の仕組みを構築するよう求める請願書

結果 質疑、討論もなく、全員一致で採択すべきものと決しました。

厚生建設委員会

議案6件

議案第50号 広陵町廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正することについて

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第51号 広陵町下水道条例の一部を改正することについて

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第52号 広陵町水道事業給水条例の一部を改正することについて

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第54号 平成25年度広陵町介護保険特別会計補正予算(第2号)

問 65歳以上の方へのニーズ調査の回収方法は。

答 基本的に郵便で返送してもらう予算を計上している。ケアマネなど善意により持参される方もある。
結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第55号 平成25年度広陵町水道事業会計補正予算(第2号)

問 職員手当の減額分の予算は。
答 増額分は今回計上し、減額分は不用額扱いとする。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第56号 町道の路線認定について

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議会日誌

11月

- 2日・4日 文化祭
- 9日 広陵北小学校140周年記念式典
- 12日・13日 第57回町村議会議長
全国大会
- 16日 広陵東小学校50周年記念式典
- 26日 ごみ処理町民会議委員会
- 27日 葛城広域行政事務組合議会
- 28日 国保中央病院組合臨時議会
- 29日 議会運営委員会

12月

- 5日 第4回定例会(初日)
 - 10日 第4回定例会(二日目)
 - 11日 第4回定例会(三日目)
 - 12日 総務文教委員会
 - 16日 厚生建設委員会
 - 16日 議会運営委員会
 - 25日 第4回定例会(最終日)
 - 25日 広報編集委員会
- ## 1月
- 5日 町消防団出初式
 - 10日 広報編集委員会
 - 13日 成人式
 - 17日 広報編集委員会
 - 19日 消防協会北葛城支部連合出初式



成人式



甘酒炊き



消防団出初式

編集後記



第84号は2月発行ですが、町民の皆様、平成26年の新年をさすがしく迎えられ、おめでとうございます。国政におきましては安倍政権誕生から一年が経過し、経済諸指数では明るい傾向が出ていますが、今年国民一人一人の生活にその景気回復がおよびかどうかの正念場の年であります。

本町政では昨年7月に十二年ぶりに町長が交代し、山村町政が発足致しました。町長は基本姿勢として対話を重視する事を一番に掲げられています。町民や議会との議論を重視し政策協議を密にしようという事であり、議会として望むところでありませう。

議会といたしましても、昨年6月に「広陵町議会基本条例策定委員会」を設置し本年中に条例制定を目指しています。本年も様々な問題が山積していますが、町民の皆様の声を十分にお聴きし、議論し、決定していきたいと考えています。議会が住民の皆様と緊密な関係になってこそ地方自治の原則が生かされるものと信じます。

本年が皆様にとりまして良い年になりますように心からお祈りいたします。

広報編集委員

- 委員長 堀川 季延
- 副委員長 笹井 由明
- 委員 谷 禎一
- 委員 山村美咲子
- 委員 八尾 春雄
- 委員 八代 基次



再生紙を使用しています。



環境負荷が少ない
植物油インキを
使用しています

見やすいユニバーサルデザイン
書体を採用しています。